

# 輪島塗

## 歴史

輪島塗の発祥は、約1000年前の大陸伝来説、15世紀初めに輪島に来た根来僧が普及させた説、近くの柳田村に伝わる合鹿碗[ごうろくわん]が原型という諸説があるが、文明8年(1476年)には輪島に塗師がいたことは明らかになっている。天正10年(1582年)加賀藩主の能登巡行の際、すでに輪島塗の特徴である地の粉が使われており、輪島独自の加飾技法である沈金[ちんぎん]は18世紀に完成、蒔絵[まきえ]は19世紀初め会津からもたらされている。

漆器の販売は塗師屋[ぬしや]が商品見本を背負い全国各地を行商してまわり、販路を拡大していった。特に、18世紀から講組織による販売が加わり、飛躍的に需要が伸びるとともに品質向上がはかられた。また、北前船によって全国に運ばれ、その名声を広げていった。

## 特色

堅牢な塗りと加飾の優美さを特徴とし、日本を代表する漆器として高く評価されている。

特に、輪島特産の地の粉(珪藻土の一種)を下地に塗り、塗り上げるまでに20工程以上、総手数では75~124回にも及ぶといないな手作業で作られるため、堅地漆器の名声を博している。

さらに、木地の外側や損傷しやすい箇所には漆で麻布を貼る布着せの技法や地付けの際、下地が剥離破損し易い上縁に栓皮笥[ひかわべら]で生漆を塗る地縁[ちぶち]引きが、漆器の品質と堅牢度を高めている。

また、加飾にも優れ、特に、沈金技法は輪島で完成したといわれ、多くの名工を育ててきた。

昭和52年4月25日国の重要無形文化財に指定されている。



# 輪島塗漆器

## 历史和特色

关于轮岛涂漆器的发祥传说诸说纷纭，一说是大约1000年前从中国传来的，另一说是15世纪初由根来寺来访的僧人普及的，还有一说是流传到柳田村的合鹿碗为原型的。不管发祥是来自哪里，据记载在1476年轮岛地区就已经有漆匠的存在了。1582年，在加贺藩主访问轮岛的时候，使用了使漆器牢固的珪藻土。在18世纪完成了嵌金技术。19世纪初从福岛的会津传来了泥金画技法。轮岛漆器运用了多种多样的技术，其美观又牢固的特征使其成为日本的代表性漆器而受到了很高的评价。

## 情報 资讯

主な生産地(主要产地)	輪島市(輪島市)
主な製品名(主要产品名)	飲食什器、室内装飾品、茶道具(餐饮器具、室内装饰品、茶具)
主な生産者(主要生产者)	輪島漆器商工業協同組合(輪島漆器商工业协同组合) 〒928-0001 輪島市河井町24-25(輪島市河井町24-25) TEL (0768)22-2155 FAX (0768)22-2894 MAIL info@wajimanuri.or.jp http://www.wajimanuri.or.jp